

10

October
2012
No. 163

あなたに届けます
JAから

なのはな

IBUSUKI

JA Magazine Nanohana



**第61回鹿児島県畜産共進会
(9月29日霧島市・始良中央家畜市場)**



JA いぶすき

編集発行:いぶすき農業協同組合
〒891-0516鹿児島県指宿市山川成川3830
TEL.0993-35-3411
<http://www.ks-ja.or.jp/ibu/index.html>

第61回鹿児島県畜産共進会

9月29日、霧島市の始良中央家畜市場で第61回鹿児島県畜産共進会が開催されました。県内各地から58頭の牛が出場し、3部門（若雌1区・若雌2区・父系群）で発育体積や資質品位などの審査が行われました。

当JA管内からは、若雌1区に江崎猛さん（指宿地区）の「まさ号」、若雌2区に西川智恵美さん（開聞地区）の「しほ号」が出場し、ともに優秀賞を受賞されました。会場は多くの人でにぎわい、お楽しみ抽選会や、食肉・特産品の販売なども行われました。



審査会場の様子



西川智恵美さんの「しほ号」



江崎猛さんの「まさ号」

平成24年度JAいぶすき秋季畜産共進会

当JAは、9月13日、指宿市の指宿中央家畜市場で平成24年度JAいぶすき秋季畜産共進会を開催しました。

管内から若雌牛37頭が出品され、厳正な審査の結果、指宿地区の江崎猛さんの「まさ号」がグランドチャンピオンに輝きました。

なお、江崎猛さんの「まさ号」と西川智恵美さんの「しほ号」の2頭が、9月29日に開催される鹿児島県畜産共進会に出場することが決定しました。

共進会の成績は次の通りです。
（敬称略）

- 各出品区1席
- ・若雌1部（12カ月令未満）
谷口隆夫「はなみ9の4号」
- ・若雌2部（12カ月令～16ヶ月令）
江崎猛「まさ号」
- ・若雌3部（17カ月令～23ヶ月令）
西川智恵美「しほ号」



受賞者の皆様



厳正な審査が行われた会場の様子

祝20周年記念 山川高校バイオ苗引渡し式

県立山川高校は、9月26日、校内のハウス前で、バイオサツマイモ苗の引渡し式を開催しました。

生徒・生産者・JA関係者など約80名が参加、生徒が実習で育てたバイオサツマイモ苗が、生産者・JAに手渡され、今年で20周年を迎えた引渡し式を祝いました。

手渡された苗は、山川地区の生産者に配布され、育苗・増殖を行い、ハウス・トンネル栽培で12月から植付けが始まり、5月頃まで続きます。

山川地区の昨年度の青果用サツマイモ販売実績は出荷量600トン、販売額1億90万円。

バイオ苗は、サツマイモの重要病害である帯状粗皮症の発病を軽減し、地域の生産基盤を安定させています。

園芸工学・農業経済科3年生の追立雄平君(17)は「先輩方が築いて来た20年という伝統を誇りに思う。今以上に頑張っって良い苗を育て、地域に貢献して行きたい。」と力強く決意を述べました。



祝20周年記念 山川高校バイオ苗引渡し式

いぶすき観葉フェア2012秋

当JA観葉植物部会は、9月11日・12日の2日間、指宿市東方の観葉センターで「いぶすき観葉フェア2012秋」を開催しました。生産者・市場関係者ら約100名が参加。生産者が工夫を凝らしたそれぞれのブースで市場関係者と商談・意見交換を行いました。

市場関係者の一人は「指宿は生産者の気持ち・姿勢が良い。これからも遊び心のある商品を作って欲しい。」と話しました。

下温湯正弘部会長は「行政・JA・生産者が一体となって全国に指宿の観葉植物を届けたい。本日は、生産者と市場関係者が、活発に意見を交換して頂きたい。」と挨拶しました。2日目は農場の視察を行いました。

JAいぶすき観葉植物部会は、今年が部会設立30周年の節目の年。部会員は61名。

2012年度は販売品取扱計画で9億5千万円を見込んでいます。



様々な植物が並んだ観葉フェア

東日本大震災 復興支援活動報告

JAグループ鹿児島では、昨年度に引き続き平成24年度も東日本大震災の復興支援活動を実施し、当JAからも昨年度2名、平成24年度も2名を派遣することとしています。



本所債権対策部

債権管理課 福崎 真也

9/17から9/21までの5日間、第4次JAグループ東日本復興支援隊として、東日本大震災で被害に遭った宮城県の被災地で支援活動を行って参りました。

初日は南三陸町のビニールハウスでキクを栽培していたところ、津波によりビニールハウスを流され被災したキク農家のところで支援活動を行いました。平成23年度の補助事業でハウスを再建しましたが、土壌が海水に浸ったことにより土の入れ替えを行ったところ、石や岩が多数混ざっているため石や岩を取り除く作業でした。作業終了後、被災した「防災対策庁舎」等も視察し、津波の脅威を改めて実感しました。

翌日から巨理町に活動場所を移し、いちごを施設栽培により生産している農家の支援活動を行いました。初日の方と同じく津波によりビニールハウスを流され被災された農家でしたが、復興に向けていちご作りを再開しようとしておられる方でした。

活動内容は、既に建設されてあるビニールハウス内にパイプを使って高設栽培用のベンチを組み立てていく作業でした。初日に合流した鳥取支援隊約15名に加え、埼玉支援隊約20名も加わり総勢約55名での作業となり、2日間で苗を定植できるところまで完成させることが出来ました。

現在、南三陸町、巨理町は、がれきの撤去はほぼ終わっていますが復興には程遠い状況であります。限られた時間で出来たことは極わずかですが、それでもなにかしら行動することにより被災地の方々は励まされ勇気付けられているのだと感じました。

また、被災地を管轄するJAは地域のJAとして全力で復興に取り組んでいます。今回の支援活動を通して「地域に根ざす」ということを深く理解し、JAいぶすきの職員一丸となって地域に対して何が出来るか考えていこうと思います。



第4次JAグループ東日本復興支援隊

えい施設サツマイモ出荷反省会

当JAは9月11日、平成24年産施設サツマイモ出荷反省会並びに次年度対策会議を開催し、生産者・行政・市場・JA関係者など約40人が出席しました。

会議では2L・L階級中心の栽培、また、値段が良く需要もある長イモ率の向上と併せて販売の強化を課題に所得向上につなげていく意向を固めました。

平成24年産については、共販量306トン（平年比88%）、共販額1億271万7000円（同比83%）、単価335円（同比93%）となりました。

えいさつまいも専門部の尾曲幸部会長は「厳しい情勢であるが、産地として商品に自信を持ち、来月から出荷予定の青果用サツマイモ『べにはるか』の『えい太くん』とともに普及拡大に向けてPR活動をしていきたい。」と挨拶しました。

主要産地として知られる南九州市穎娃町では、日本一の早掘りサツマイモを目標として、反収の向上、農家の維持拡大に取り組んでいます。



出荷反省会の様子

第16回 JAいぶすき年金友の会 グラウンドゴルフ大会

当JAは9月26日、指宿なのはな運動公園で第16回年金友の会グラウンドゴルフ大会を開催しました。当日は67チームが参加、熱戦を繰り広げ、山川支部の福元あじさいチームが優勝しました。団体上位成績については以下の通りです。

- 団体成績
- 優勝 福元あじさいチーム（山川支部）
 - 準優勝 唐船峡（開聞支部）
 - 第3位 山川（山川支部）
 - 第4位 中名ススメ会（喜入支部）
 - 第4位 成川E（山川支部）
- *上位3チームが、11月8日に行われる県大会へ出場することになりました。



表彰式の様子

新南部支所建設地鎮祭

当JAは、9月10日、指宿市十二町に建設予定である新南部支所の地鎮祭を行い、建設会社・JA関係者など30名が参加しました。

祝詞奏上・鍬入れ・玉串奉納などの神事を行い、工事の無事を祈願しました。

新南部支所は、現在の南部支所が県道240号線の拡張工事に伴い、事務所建て替えが必要となったため、購買倉庫跡地に、2012年12月に完成予定です。鉄骨造作りの平屋建てで、述べ床面積214.95平方メートル。信用共済事業を中心とした営業店舗を計画しています。



玉串を奉納し、安全を祈願する西村組合長

ソラマメは種作業

当JA管内で、9月上旬からソラマメのは種作業が本格的に始まりました。約1ヶ月予冷庫でバーナリ処理（冬の低温状況に一定期間さらし、開花能力を誘導する）を終えたそらまめの種子が出庫を迎え、順化（温度慣らし作業、出庫後約12時間）後の種子が生産者に渡されました。

生産者は、持ち帰った種子を選別し、1粒1粒丁寧に圃場に植付けました。
JAいぶすき管内では、面積約134ヘクタール、共販量約2372トン、11月末～4月までの出荷期間で計画しています。



丁寧に種作業を行う生産者

スナップエンドウは種作業

当JA管内でスナップエンドウのは種が始まりました。は種作業は、早い地域で8月下旬から始まり、9月中旬過ぎからが種のピークとなります。

管内のスナップエンドウは、年内から出荷が始まり5月までの長期で出荷が行われます。

年内出荷分については、12月のクリスマス商材としての販売を見越し、まだ暑い日が続くなか、生産者は種作業に取り組んでいます。

当JAでは、平成24年度、面積65ヘクタール860トンの出荷量を計画しています。



スナップエンドウのは種作業

フレッシュユミズ ミニバレーボール交流会

J A 鹿児島県女性組織協議会は9月20日、フレッシュユミズ ミニバレーボール交流会を鹿児島市の松元平野岡体育館で開催しました。県内のJ A から11チームが参加し、当J A から応援を含めて1チーム、12名(チーム名「篤姫」)が参加し、みごと準優勝に輝きました。
主な成績は以下の通りです。(敬称略)

- 優勝 J A あいら (国分チーム)
- 準優勝 J A いぶすき (篤姫チーム)
- 3位 J A あいら (始良チーム)

平成24年度夏期農業機械展示会

当J A は9月21日・22日の2日間、南九州市の南薩農機センターで、夏期農業機械展示会を開催し、2日間で200名を超える来場者でにぎわいました。

会場内には最新鋭の大型トラクターをはじめ、小型管理機・園芸用品などさまざまな農業関連資材を展示しました。実際に機械に触れ、性能を確かめる来場者の姿も多く見られました。
会場にお越し下さいました皆様、本当にありがとうございました。



様々な機械が並んだ展示会場



準優勝に輝いたJ A いぶすき篤姫チーム

親子で考える 「協同組合」早わかり

Q & A



**Q. JAのほかには、
どんな協同組合があるの？**



**A. JF(漁業協同組合)やJForest(森林組合)、
COOP(生活協同組合)など、
さまざまな協同組合があるよ。**

JAは農業者の協同組合だけど、JFは漁業者、JForestは森林を所有している人の協同組合よ。これら3つは、一次産業に携わる人のための組合で、組合員の経営や生活を守りつつ、消費者に安全で新鮮な国内産品を提供したり、農地・海・山林を美しく保つための活動をしているの。

一方、COOPは消費者の組合で、安全・安心な商品が購入できるよう、店舗事業や宅配サービスを行っているの。このほかにも、地域に貢献する医療や福祉、金融など、多くの協同組合があるよ。

最近ではこうした組合同士連携も盛んに。たとえば、JAとJFと一緒に運営している直売所では、新鮮な農畜産物と海産物のどちらも買うことができ喜ばれているの。力を合わせることで、いっそう地域に貢献しているのね。

「2012年は国際協同組合年です」

2012年は、国連が定めた「国際協同組合年」です。これは、国連が協同組合を「よりよい経済・社会の建設に大きく貢献できる事業体」と評価して定めたもの。「協同組合がよりよい社会を築きます」をスローガンに、社会、経済の問題などに対して、世界で協同組合が行っている活動を広めることをめざします。



理事会だより

平成24年9月27日、第10回理事会が開催され、次の通り協議、承認されました。

【協議内容】

- 農協法第93条に基づく県への報告について
- 全般統制・不祥事未然防止行動計画の評価項目一覧表について
- 平成24年度8月末「資産査定」結果について
- 平成24年度8月末債務者区分「資産査定大口先」の状況について
- 平成24年度上半期末事業実績及び年度末事業実績見込みについて
- 財務改善計画書における平成24年度上半期末実績報告について
- 全国監査機構監査（期中Ⅰ）（改善を要する事項）の監査回答書（案）について

【報告事項】

- ・ 自主検査実施状況について
- ・ 全国監査機構監査（期中Ⅰ）（事務的改善事項）の監査回答書について
- ・ 平成24年度内部監査報告について
- ・ 全国監査機構監査（期中Ⅱ）の実施について
- ・ 不祥事未然防止対策の第2四半期の取組み状況報告について
- ・ 平成24年度要員計画に対する上半期末実績報告について
- ・ 公益法人への外部出資に係る対応について
- ・ 金融ADR制度にかかる相談・苦情対応状況の定期報告（上半期末）について
- ・ 共済ADR制度にかかる相談・苦情対応状況の定期報告（上半期末）について
- ・ 平成24年度出資金増資運動第2回目の実施について
- ・ 平成24年度日本農業新聞普及運動実施要領について
- ・ 喜入斎場の土地賃貸借契約締結について
- ・ 「JA住宅ローンキャンペーン」実施要領について
- ・ 平成24年度「家の光」12月号特別普及運動要領について
- ・ 購買未収金の報告について
- ・ 平成24年10～12月期の配合飼料供給価格について

おくやみ(敬称略)

(平成24年8月1日)

平成24年8月31日

【喜入】

増水 力夫 (95) 78
米倉 信子

【指信】

宮原 勇雄 (87)
木原 修一 (64)
濱崎 貞子 (96)
今村 ヨ子 (98)
西中川 トミ (93)

【山川】

黒山 満恵 (84)
市山 政和 (54)
井上 成美 (69)
福留 なるみ (48)
國澤 桂子 (74)
東田 文子 (86)
演田 ナミエ (87)
東田 國盛 (66)
濱田 シズ (99)
西元 シナエ (85)

【開聞】

福永 ノブ子 (89)
西留 秋彦 (80)
福永 正則 (84)
上野 睦夫 (58)
川畑 タミ子 (85)
岩下 フチエ (94)
追中 ハナエ (96)

【願娃】

中村 キクエ (88)
里中 茂彦 (75)

つつしんでご冥福をお祈りいたします。

10月新発売！“からだぽっかぽっか”サポート飲料

Kyoyaku
生姜アリス ぽっかぽっか
おいしく 体あたためよう。

ショウガ
※純成分であるジンゲロールが含まれ、体の内側から温めます。

ヒハツ
辛味成分ヒハツを含む食用アジアンライム科の植物。

シトルリン
ウリ科の植物に多く含まれるアミノ酸。

ヘスペリジン
かんきつ類に多く含まれるフラボノイドの一種。

ビタミンE
酸化阻害の増加を防ぐ抗酸化ビタミン。

ホットでもアイスでも

1.365円(税抜価格1,300円)

このような方におすすめです。

- 手足がいつも冷たい
- かぜをひきやすい、寝つき・寝起きが悪い
- 体のめぐりが気になる
- 冷房が効いた場所が苦手
- 夕方になると足がむくむ、だるい

【原材料】
果糖ぶどう糖液糖、精製ハチミツ、デキストリン、シトルリン、生姜エキス、ヒハツ抽出物、クエン酸、甘味料(アセスルファムK、スクラロース)、香料、ヘスペリジン、香辛料抽出物、抽出ビタミンE

JAグループ

お好みの濃さで召し上がれる希釈タイプ

おいしい 召し上がり方の目安

生姜アリス 1
お湯 9

お湯などで10倍(本品1:お湯9)に割ってお召し上がりいただくほか、紅茶や炭酸水で割るなど、アイデア次第で様々な楽しみ方ができます。1食あたり本品15ml(大さじ1)が目安です。

いつもお手元に！安心と信頼の農協の置き薬

お問合せは農協各支所または
経済連生活課(099-258-5325)まで

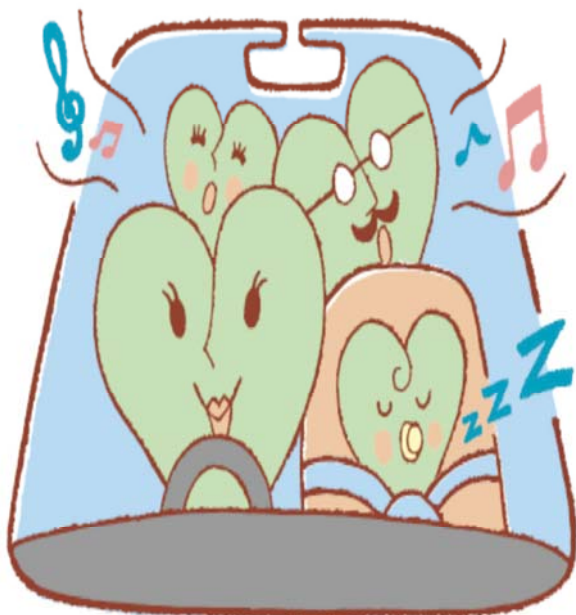
冷えは万病の元といわれるように、からだの冷えは多くの症状や病気の一因となっています。新発売の「生姜」エキスはショウガをはじめ、体を温める素材を複数配合した、冷えを感じやすい人におすすめの飲料です。

マイカーローンキャンペーン実施中

～ JAマイカーローン ～

“あなたにぴったりのプラン、見つかります”

キャンペーン期間：平成24年9月3日～平成24年11月30日



適用金利(最軽減後金利)

エコプラン対象

2.0%

エコプラン対象外は年2.3%

金利軽減条件

※エコプランとはJAマイカーローンをご利用いただき、エコカーを購入することをいいます。エコカーとは、国土交通省平成22年度税制改正において、自動車重量税・自動車取得税の特例措置の対象なる環境性能に優れた自動車(中古車を含む)となります。

お問い合わせ先	JAいぶすき 融資課	電話番号0993-35-3412
取扱支所	JAいぶすき 喜入支所	電話番号0993-45-1211
取扱支所	JAいぶすき 中部支所	電話番号0993-25-4211
取扱支所	JAいぶすき 大山支所	電話番号0993-35-2160
取扱支所	JAいぶすき 開聞中央支所	電話番号0993-32-3131
取扱支所	JAいぶすき えい中央支所	電話番号0993-36-1131
取扱支所	JAいぶすき 青戸支所	電話番号0993-39-0111
取扱支所	JAいぶすき 別府支所	電話番号0993-38-0021

